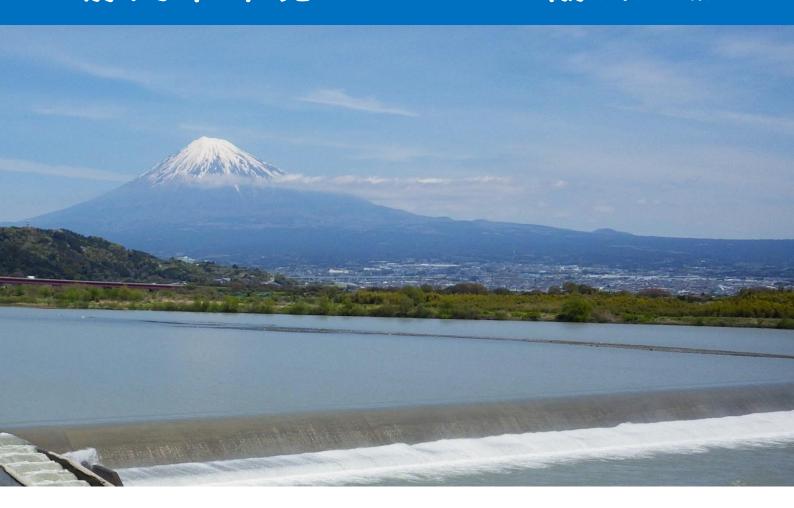
静岡県環境アセスメント協会 会報誌



新年あけましておめでとうございます。 2025 年の新しい年を迎え、関係各位の皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

昨年は、コロナ禍の影響から世界が脱し、我が静岡県の様々な活動も活発さを取り戻してまいりました。 同時にわたしたちの住む地球や、取り巻く社会情勢は、さらなる変化と複雑化の速度を増し、環境の問題・ 課題も、これまでの延長にはないレベルと内容で、解決に向けた順応的な行動が求められています。

私たち、静岡県環境アセスメント協会の 6 社は、40 年にわたり、静岡県内の各地域で、環境と人間社会がより良い関係を保ち、豊かな地域の未来を切り開いて行くための技術を研鑽してまいりました。その培ってきた技術を持って、本県の持続的発展に貢献して参る所存です。

本年も、なにとぞ、皆様の、ご指導ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

静岡県環境アセスメント協会 理事長 河合恒一

令和 6 年活動報告

令和6年は新型コロナウイルス感染症流行前の活動を取り戻した | 年となりました。 本協会で毎年参加している「麻機遊水地フェスタ」「麻機遊水地クリーン作戦」も例年通り実施、協会の理事会・総会、環境保全セミナーも対面(会場)で実施することができました。

➡麻機遊水地における外来種防除活動







麻機遊水地クリーン作戦

2024年5月25日、麻機遊水地保全活用推進協議会主催、麻機湿原を保全する会、静岡県土木事務所、静岡市役所共催による麻機遊水地クリーン作戦に参加しました。静岡県環境アセスメント協会からは 12名が参加し、当協会の専門性を生かして、特定外来生物の防除活動を行いました。

麻機遊水池第3工区での外来種駆除活動も、2014 年開始から 11 年目(作業なしの年を含む)を迎えました。近年はオオキンケイギクが減ってきたため、別の外来種の引き抜き作業をしています。 特にナガエツルノゲイトウは麻畑川から遊水地にも侵出しており、繁殖力が強いので要注意の種です。



ヒルザキツキミソウ

オオブタクサ



外来種防除活動 2024 年 5 月 ※周囲の写真は今回駆除した主な外来種



ナガエツルノゲイトウ



特定外来生物(ナガエツルノゲイトウ)駆除作業 協力

2024 年度は、官学民連携による特定外来生物 (ナガエツルノゲイトウ) 駆除計画と駆除作業が実施されました。静岡県環境アセスメント協会からは常時 2~4 名が事前の打ち合わせ、駆除作業に参加しています。

2024 年12月20日の静岡市主催の駆除作業は、麻機遊水地に隣接した浅畑川で実施され、大学生、 民間企業など約40名が参加しました。

今後も何からの形で関わっていきたいと思います。





作業開始前の集合状況 (今年度作成したのぼり旗が活躍しました)



掘り取り作業



全体の作業風景



駆除されたナガエツルノゲイトウ

➡森機遊水地フェスタ







2024年 10月 26日、麻機遊水地保全活用推進協議会主催、静岡県土木事務所・静岡市役所共催に よる麻機遊水地フェスタに出展しました。

約 400 人が来場し、多くの方で賑わった楽しいフェスタとなりました。

静岡県環境アセスメント協会ではクラフトブースを運営し、植物の実を使ったネイチャークラフト作成指導 (どんぐりやハスの実で森の小人を作ろう)を行いました。子供から大人までたくさんの方にご参加いただき、 準備した 190 セットは午前中で終了しました。

また、5 月の麻機遊水地クリーン作戦に引き続き、ナガエツルノゲイトウのパネルも掲示し、麻機遊水地の 自然環境について興味を持ってもらえるようにしました。





クラフト指導 の様子



ブース全景と 受付の様子





⇒環境保全セミナー



を世界中に

エネルギーをみんなに 11 住み続けられる そしてクリーンに 11 住み続けられる 15 陸の豊かさも 守ろう



2024 年 12 月 6 日、静岡県環境アセスメント協会および静岡県環境保全協会、静岡県との共同開催により環境保全セミナーを開催しました。

今年度も昨年に引き続き会場で開催しました。セミナーは、建設コンサルタント関連や工場等の民間企業をはじめ、県・市町の環境関連担当者に申込いただき、参加者数は 69 名とコロナ禍で中止となって以降最多の参加者数となりました。第 17 回目の開催となります。

講演 | 「環境影響評価法を巡る最近の動向」

環境省 大臣官房環境影響評価課 課長補佐 鈴木祐介氏より、第6次環境基本計画に基づく最新の環境影響評価の動向、手続きの合理化など環境省の取組について、ご講演頂きました。



講演 2「水・大気環境行政の主要課題~PFAS、 水道水質、プラスチック汚染対策条約の最新動 向など~」

環境省水・大気環境局総務課政策企画官 辻景太郎氏より、PFASへの対応、ALPS処理水に係るモニタリング、海洋プラスチック問題への対応等に関わる環境行政について、ご講演頂きました。



講演3「南アルプスの環境保全と魅力発信の取組」

静岡県くらし・環境局環境部 自然保護課 主任 野末尚希氏より、南アルプスの環境保全と魅力発信の県の取組についてご講演頂きました。



河合理事長の挨拶→



↓会場の様子



静岡県環境アセスメント協会の活動の歴史

静岡県環境アセスメント協会は、1986 年8月7日に、静岡県内の建設コンサルタントや環境測定・分析企業が集まって、健全で豊かな環境の維持と、環境アセスメント制度を普及することを目的として設立されました。 それから38 年を経て、現在静岡県内 6 社が参加・連携し、県内各地域の活性化につながる環境保全活動を行っています。

年	国・静岡県の主な動向	静岡県環境アセスメント協会の主な活動
1986	• 環境影響評価実施要綱について(環境庁企画調整局長通知)	・ 静岡県環境アセスメント協会設立
1987		• 焼却場・し尿場環境影響評価技術指針案作成
1988		• 静岡県環境影響評価技術指針案の作成
1991		• 環境影響評価技術マニュアルの作成
1992	静岡県環境影響評価要綱施行絶滅のおそれのある野生動物の種の保全に関する法律制定	• 静岡県環境影響評価要綱説明会開催
1993		リモートセンシングセミナー開催
1994	• 環境影響評価制度総合研究会発足	• 環境創造シンポジウム開催
1995		静岡県環境影響評価要綱技術説明会開催静岡県環境影響評価技術指針の手引き作成
1996	今後の環境影響評価制度の在り方について静岡県環境基本条例制定	静岡県環境基本計画「中間検討案」への意見書提出
1997	• 環境影響評価法公布	• 環境影響評価法に関するシンポジウム開催
1998	環境影響評価法施行規則公布環境影響評価法に基づく主務省令公布	• 静岡県における環境影響評価制度の在り方についての意見書提出
1999	環境影響評価法全面施行静岡県環境影響評価条例施行	静岡県環境影響評価条例セミナー開催静岡県環境影響評価技術指針説明会開催
2002		環境フェア出展
2003	• 静岡県版レッドリストの公表	• 静岡県版レッドリスト説明会開催
2004	まもりたい静岡県の野生生物 県版レッドデータブック発行静岡県版レッドリストの更新	静岡県版レッドデータブック説明会開催環境・森林フェア出展
2006		環境・森林フェア内で環境保全セミナー開催20 周年誌発行
2007		• 環境・森林フェア内で環境保全セミナー開催
2008		• 環境・森林フェア内で環境保全セミナー開催
2009		• 環境・森林フェア内で環境保全セミナー開催
2010	• 静岡県希少野生動植物保護条例の制定	• 環境・森林フェア出展
2011	環境影響評価法改正公布静岡県希少野生動植物保護条例の施行	• 環境保全セミナー開催
2012		• 環境保全セミナー開催
2013	• 改正環境影響評価法完全施行	• 環境保全セミナー開催
2014		麻機遊水地フェスタ(環境学習会開催)環境保全セミナー開催
2015		麻機遊水地クリーン作戦(外来植物駆除)環境保全セミナー開催
2016	第3次静岡県環境基本計画の見直しふじのくに地球環境史ミュージアム開館	・麻機遊水地クリーン作戦(外来植物駆除)・30周年記念事業(式典、講演会)・麻機遊水地フェスタ出展・環境保全セミナー開催
2017	• 静岡県版レッドリスト全面改訂	麻機遊水地クリーン作戦(外来植物駆除)麻機遊水地フェスタ出展環境保全セミナー開催
2018		・麻機遊水地クリーン作戦(外来植物駆除)・麻機遊水地フェスタ出展・第 12 回アジア環境アセスメント会議 in 静岡協賛、参加・環境保全セミナー開催

年	国・静岡県の主な動向	静岡県環境アセスメント協会の主な活動
2019	環境影響評価法施行令の一部改正の公布静岡県版レッドデータブック【動物編】公表	・麻機遊水地クリーン作戦(外来植物駆除)・環境保全セミナー開催
2020	• 静岡県版レッドデータブック【植物編】公表	
2021		• 環境保全セミナー開催(オンデマンド)
2022	静岡県盛土等の規制に関する条例施行静岡県水循環保全条例施行	麻機遊水地クリーン作戦(外来植物駆除)環境保全セミナー開催
2023	• 宅地造成及び特定盛土等規制法(盛土規制法)施行	・麻機遊水地クリーン作戦(外来植物駆除)・麻機遊水地フェスタ出展・環境保全セミナー開催
2024	地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律(生物多様性増進活動促進法)公布 ※2025年4月1日より施行予定	・麻機遊水地クリーン作戦(外来植物駆除)・麻機遊水地フェスタ出展・環境保全セミナー開催
		・麻機遊水地特定外来生物(ナガエツルノゲイト ウ)駆除 協力

(株)環境アセスメントセンターの業務・CSR 活動紹介

2024 年度も静岡市 SDGs 宣言の一環として、業務及びボランティア活動を通じて I 年間目標達成に取り組みました。 取り組みの一部 (環境に関する目標)をご紹介します。



環境保全セミナーの企画運営、地方自治体の自然観察会の開催支援、環境に関わる広報 資料作成支援により、環境教育の推進に貢献する

自然観察会の開催支援

自治体職員、裾野市・長泉町・沼津市・安曇野市等における親子対象の自然観察会の補助を行いました。自然とのふれあいに係る解説の仕方や安全管理について、若手社員の学習の場にもなっています。





水生生物観察会指導



自然観察会のまとめ (北信越支社:長野)

環境に関わる広報資料作成支援

平成26年に発行された安曇野市版レッドデータブックの改訂作業を行いました。広報資料として概要版の作成支援を行い、市民が身近に感じられる自然環境、自分たちでできる環境保全の取組についての情報も盛り込みました。







河川・遊水地・海岸等における清掃活動を支援することで、川から海へと通じる生態系の豊かさを守り、マイクロプラスチック対策の取り組みに貢献する

静岡県環境アセスメント協会の一員として麻機遊水地クリーン作戦に参加したほか、県内外の河川で 清掃活動を行いました。



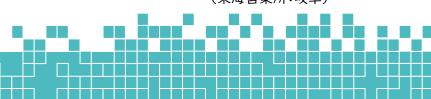
狩野川クリーンアップ大作戦



天竜川クリーン作戦



ボランティア長良川清掃活動 (東海営業所:岐阜)





自然環境調査、希少な動植物の保全対策の実施、外来種駆除活動の支援、地方自治体の生物多様性地域戦略の策定支援を通じて、地域の生物多様性の向上に貢献する

外来種駆除活動の支援

地域の生物多様性を脅かすとされる外来種対策・駆除活動についての支援を行っています。外来種対策は継続的に実施する必要があるため、長期的な視点で今後も関わっていきたいと考えています。





外来種駆除作業 (左:ミシシッピアカミミガメ 右:ナガエツルノゲイトウ)

外来種駆除イベントの開催補助 (東海営業所:岐阜)

生物多様性の向上への貢献

- ◇自然環境調査で確認された希少な動植物については、レッドデータブック等の保護方針に基づき、保 全対策を提案・実施しています。
- ◇自然環境調査や保全対策の業務経験と技術を活かし、環境省が認定する「自然共生サイト」の登録 支援を行っています。

自然共生サイト認定基準

境界·名称	地理的に画定された区域、区域の面積の算出、名称の付記			
ガバナン	管理権限の存在、管理の衡平性、管理措置に関する基準			
ス・管理	管理体制の長期継続性に関する基準			
生物多様	場	公的機関等に、生物多様性保全上の重要性が求められている場		
性の価値		原生的な自然生態系が存在する場		
		里地里山といった二次的な自然に特徴的な生態系が存在する場		
		在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存		
		在する場		
		地域の伝統文化のために活用されている自然資源の供給の場		
	種	希少な動植物種が生息生育している場、生息生育している可能性		
		が高い場		
		分布が限定、特異な環境へ依存など、特殊性のある種が生息生育		
		している場		
	機	越冬、休息、繁殖、採餌、移動(渡り)など動物の生活史にとっ		
	能	て重要な場		
		既存の保護地域又は自然共生サイト認定区域に隣接する若しく		
		はそれらを接続するなど、緩衝機能や連続性・連結性を高める機		
		能を有する場		
(4) (4) (4) (4)	管理の有効性 モニタリングと評価			





生物多様性のための

30by30 アライアンスに参画しています

30by30 (サーティ・バイ・サーティ) とは、生物多様性の損失を食い止め、回復させるというゴールに向け、2030 年までに国土 (陸・海) の 30%以上を自然環境エリアとして効果的に保全することを目標とする国際的な約束です。

当社は生物多様性保全に係る業務経験を活かし、30by30の実現に向けた保護地域の拡大・管理の拡充を図るための取り組みを支援しています。

(株)サイエンスの業務紹介



弊社は『環境における医師となる』を合言葉に、安全で豊かな環境を保全するため、信頼のおける技術力で 地域に貢献する企業を目指しています。以下に弊社業務とその一部の例、CSR 活動についてご紹介します。

業務紹介

環境アセスメントに係る、自然環境調査・生活環境調査及び、 水質・土壌・大気等の各種環境分析を行っています。

計量証明

- ·水質分析(河川水·地下水·事業場排水 等)
- ·煤煙測定
- ·騒音·振動測定

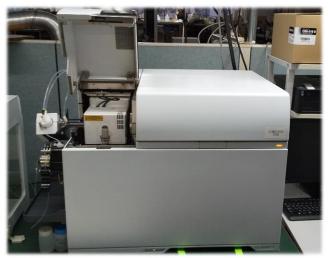
環境調査

- ·底質調査
- ·産業廃棄物分析(燃え殻・汚泥・廃塗膜・PCB等)
- ・アスベスト調査
- ·土壌汚染状況調査
- ・悪臭調査
- ・化学物質の濃度測定(シックハウス測定)
- ·温泉分析
- ・林地開発許可に伴う希少野生生物調査
- ·希少植物の移植作業





河川水の採水風景



ICP-MS 金属類の微量分析を行うことができます

希少植物の移植作業

林地開発許可に伴う希少野生生物調査により希少種が見つかった場合、保全が必要となります。 対策については施主様へご提案をさせていただいていますが、中でも植物については弊社で移植作業も行っております。それぞれの種に適した生育環境を選定したうえで移植を実施し、モニタリングを行って定着の確認をします。実際にこれまでにもキンランやシランなど、様々な植物の移植作業を行ってきました。



キンラン (静岡県レッドリスト:NT 環境省レッドリスト:VU)



シラン(静岡県レッドリスト:NT 環境省レッドリスト:NT)

Science News Letter

年 4 回、Science News を発行しています。 法改正に係る情報や社内での活動の様子などを紹介しています。メルマガでの配信のほか、ホームページ上にも掲載をしています。

最近では、PFAS 分析や、工場排水の大腸菌検査 についてのトピックスに触れています。



地域の有志活動への参加

三保海岸のゴミ拾いや下草刈り、不用品を持ち寄って、持ち帰る掘り出し物市のボランティアスタッフなどに参加しました。地域の様々な活動に参加することで、地域とのつながりも大切にしています。





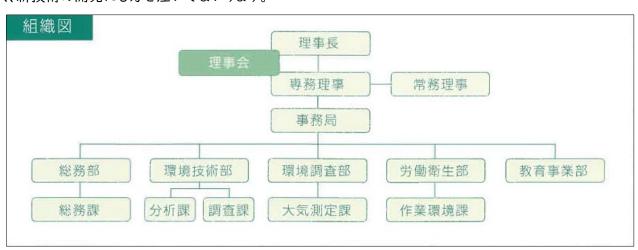
(一社) 静岡県産業環境センターの業務紹介

健康で明るい地域社会と健全な産業の発展を目指して

表題の言葉は、当法人の定款に謳われた目的です。当法人は事業活動に伴って生ずる様々な環境問題を調査、測定、分析、評価し、環境の保全、向上、改善を推進する機関として、昭和 47 年に地域の産業界と行政機関が中心となり静岡労働基準局(現静岡労働局)の許可を受け設立されました。

皆様方から格別なご愛顧を賜わり連営は順調に推移し、永年に亘る技能の研鑽とノウハウの蓄積がもたら す高度な技術を駆使したデータとコンサルティングは、高い信頼を得ています。

歩みを止めることなく更に努力を重ねると共に、産業の進歩にあわせ日々複雑化する環境問題に対応すべく、新技術の開発にも力を注いでまいります。



地球環境保全

私たちは以下の事業を通じて、地球環境保全への貢献を目指しています。

·大気

ボイラー、焼却施設などの排出ガス測定

一般環境大気測定

・水質

工場排水分析

河川水質分析

地下水水質分析

浄化対策支援

・土壌

土壌汚染調査

土壌ガス調査

・騒音

工場、建設工事、道路騒音測定低周波音測定

・振動

工場、建設工事、道路振動測定

・悪臭

発生源·環境等臭気指数·物質濃度測定



·産業廃棄物

含有·溶出試験 引火点試験

・環境アセスメント

廃棄物中間処理施設等生活環境影響調査 大規模小売店舗立地法関連調査 環境影響評価

・環境コンサルティング

大気汚染防止対策 騒音·振動対策 悪臭防止対策

労働衛生

- ·作業環境測定
- ・労働衛生(工学)コンサルティング
- ・濃度基準値設定物質等の個人ばく露測定
- ・化学物質管理専門家や作業環境管理専門家の派遣
- ・マスクフィットテスト
- ・労働衛生教育に関する講師派遣

教育

・環境情報セミナー

定時総会の開催後に記念講演会として環境情報セミナーを行っています。

・労働安全衛生教育の講師派遣

労働安全衛生教育の講師派遣の事業としまして、静岡県労働基準協会連合会等各種団体や民間企業が主催する安全衛生教育等の講師として、労働衛生(工学)コンサルタント及び作業環境測定士を派遣しています。

・産環セミナー

労働安全衛生及び環境保全に関する教育及び指導の事業として、労務や環境の管理者及び実務者 を対象とした以下の研修会を行っています。

- ①労働安全衛生研修会
- ②騒音·振動測定実務者研修会
- ·機関誌「産業環境」発行

安全衛生及び環境に係る法令等の改正や環境に関連する最新技術等の情報を収集し、機関誌として年2回発行しています。











静岡コンサルタント(株)の業務紹介と CSR

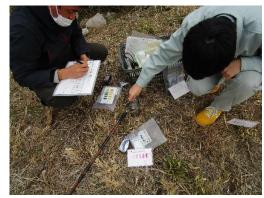
弊社では、事業による環境への影響に配慮し、専門家や地元 NPO と協働した自然環境調査・環境に配慮した工法の提案を行っています。また商工会議所と協力して社内にグリーンインフラを広げる取り組みも行っています。業務を紹介するとともに、地域の清掃活動、職場体験の受け入れなどを通じて、地域貢献のために下記の取り組みを実施しています。

松毛川自然環境調査

三島市に位置する松毛川(沼津市では灰塚川)は、昭和初期の狩野川の堤防工事により残された三日月 形の止水域で、配慮すべき生物が生息しています。事業による影響を出来る限り軽減する対策を検討するため、自然環境調査を実施しています。



生態調査



水質検査







雨庭(あめにわ)設置



雨水を緩やかに地中に浸透させる「雨庭」を社 内敷地内に設置しています。屋根などに降った雨水 を一時的に貯留し、地中にゆっくりと浸透させること ができます。これにより、河川へ直接流す水量を減 らし、氾濫を抑制する仕組みとなっており、自然の機 能を活用した「グリーンインフラ」の取り組みです。

中学生・高校生の職場体験

毎年近隣中学校・3 校、高校・2 校を受け入れています。また 2023 年からは、静岡県東部の魅力ある「働く場」があることを知ってもらう夏休み自由研究体験講座に参加し、夏休みに小学生の受け入れも行いました。体験講座では、仕事内容や UAV シミュレーター体験、設計ソフト体験などを実施しました。

職場体験では、地図情報システムを使って自宅までの地図作成や CAD や 3D ソフトを使用しての構造物設計、UAV 飛行見学など、「地図に残る仕事」の体験をしてもらいます。



小学生 体験講座の受け入れ



UAV 飛行見学

地域清掃活動



楽寿園清掃

三島地区環境保全推進協議会主催の楽寿園清掃へ年 2 回参加の他、地域清掃活動へ積極的に参加しています。 また 2020 年に沼津土木事務所・三島市とリバーフレンドシップ協定を結び、大場川の清掃活動も行っています。



大場川清掃



献血活動



本社駐車場にて、献血活動を実施しています。毎回、若手からべ テランまで多くの社員が参加しています。





(株)東日の業務紹介と CSR



弊社では環境系業務として、自然環境の創出、拡大に資する緑地設計及び施設整備に伴う既存樹木の移植、保全の調査、提案や開発行為に伴う希少野生生物の調査などを行っています。ここでは、弊社が実施した都市における緑地創出の一例をご紹介するとともに、近年のCSR活動を紹介します。

身近な森づくり <自然環境の創出>

沼津市の門池公園(総合公園)において、"エコのまち沼津"の推進施策の一つとして市民、関係団体、企業及び沼津市の協働により、平成25年に沼津の森づくり 植樹祭が実施されました。弊社は、公園の測量、設計とともに、森づくりの植栽基盤の設計に携わりました。

植栽については、生育が早い森づくりに有効な苗木の混植・ 密植型植樹の宮脇方式が導入され、潜在自然植生を踏まえた 常緑広葉樹中心の森づくりとなっています。

【門池公園/沼津の森づくり】



植樹祭 2013年(H25)

緑化整備前



2010年(H22)

植栽後2年経過



2015年(H27)

植栽後||年経過



2024年(R6)

身近な水辺環境づくり <生物多様性の回復>

三島市の水の苑緑地(都市緑地)において、市街地に残る貴重な空地に既存の湧水を活用し生物多様性の回復に繋がる水辺環境を創出するための測量、設計を行いました。本緑地は、整備後約30年が経過し、カワセミが観察されるなど自然とのふれあいの場として利用され続けています。



都市緑地のプランニング

【水の苑緑地/三島市】



1994年(H6)~現在 湧水を利用した水辺環境の創出

CSR 活動

県民の日

令和6年度県民の日のイベントの一つとして、静岡県沼津 土木事務所が主催した「沼川新放水路親子見学ツアー」の 支援を行いました。3次元計測に使用する測量機器 (LIDAR SLAM)を用いて計測した放水路トンネル内外を3次元で展 示したほか、VRゴーグルを用いて沼川新放水路の完成イメー ジを3次元画像で体験して頂き、小中学生の親子に楽しみな がら公共事業について学んで頂きました。



県民の日イベント(令和6年8月21日)



土木の日イベント(令和6年11月16日)

土木の日

毎年開催される静岡県交通基盤部主催の「土木の日」のイベントの一つとして、「土木の日 in 沼津港」において(一社)静岡県測量設計業協会の測量体験ブースにスタッフを派遣しています。令和6年度は、参加者が投げたお手玉までの距離を測量機器により自分で確認して頂き、楽しく測量を体験して頂きました。

清掃活動

沼津市にて、平成26年からスタートした市民と行政が協働 で進める沼津市の環境美化活動制度「ぬまづまちピカ応援隊」 に参加し、沼津市大岡地内の市管理河川で年2回清掃活動を 実施しています。

函南町にて、道路愛護事業の一環で行われる道路の清掃 や草刈りの活動に毎年参加するなど、環境美化に取り組んで います。





義援金ボックス

義援金活動

大規模災害など生じた際には、被災された方々などへの一助とならんことを願い、社内有志による発案をもって義援金ボックスを設け、従業員からの支援を募り、(公社)静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団を介し、日本赤十字社静岡県支部などへ寄託する活動を継続的に行っています。

- ·令和6年1月能登半島地震
- ·令和4年9月台風第15号
- ·令和3年7月熱海市伊豆山逢初川土砂災害(熱海市)
- ·令和2年7月豪雨



(株)フジヤマの業務紹介

環境調査や環境配慮の必要性

開発に係る事業の場合は、その多くで「環境調査」や「環境配慮」 が義務付けられています。例えばリニア新幹線といった大規模事業で は環境影響評価法という法律の中で環境アセスメントの実施が定め られていますが、他にも、静岡県の自然環境保全条例や政令市で定 める条例アセスなどがあります。また、天然記念物(文化財保護法)や 希少野生動植物種(種の保存法・県条例等)、指定種(自然公園法) など、希少な動植物やそれらの生息地に係る法令もあり、このような 場所で現状の改変が行われる場合も環境調査等が必要となります。





国指定の天然記念物となっている 大瀬崎のビャクシン樹林

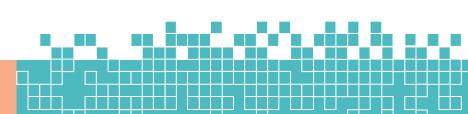
静岡県指定希少野生動植物の ヤリタナゴ

自然公園で採取等が規制される コアツモリソウ

一方で、このような法令とは関係なく環境調査が行われる場合もあります。例えば公園や街路樹の樹木管理、道路や施設の振動や排水に対する問題、農業施設でのアオコ・ユスリカの発生や外来種の蔓延など、昨今の環境に対する社会的な関心の高まりのなか、これまでとは違った環境問題も散見されます。

特に NbS (Nature-based Solutions: 自然を基盤とした解決策) に基づく Eco-DRR (生態系を活用した防災・減災) や ESG 投資など、持続可能な社会基盤づくりのための新たな概念が浸透しつつあります。





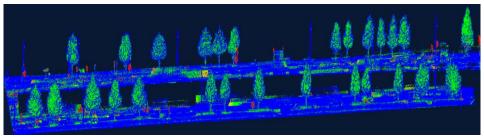
フジヤマの環境調査

適切な環境配慮の提案と事業者負担の軽減のため、フジヤマでは可能な限り新技術や新知見を取り入れ、効率的かつ効果的な環境調査を計画・実施しています。



タブレット端末やドローンを用いた調査の例







背負い型の LiDAR にて点群データを取得し、街路樹を自動検出

フジヤマの環境提案

当社は道路・河川など一般的な建設設計技術者はもちろん、都市 計画や文化財、農業土木等の技術者も所属しており、事業進捗や対 象施設の運用などもふまえた総合的な環境提案を行います。



箱根旧街道 (文化財)



西山調整池 (農業用水施設)



委員会やワークショップでは、その事業 に関係する専門の技術者がサポートを 行い、環境保全の両立を提案します。

・・・・・環境に関するお悩みごとがありましたら、ぜひ協会及び各会員組織へご相談ください。

静岡県環境アセスメント協会 会員一覧

株式会社 環境アセスメントセンター

〒420-0047 静岡市葵区清閑町 | 3番 | 2号 Tel054-255-3650 Fax054-253-789 | 環境アセスメント/動植物・生態系調査/環境・防災地質調査/生活環境調査/環境基本計画 地球温暖化対策実行計画/生物多様性地域戦略/環境教育/適応計画

株式会社 サイエンス

〒424-0812 静岡市清水区小芝町 4-13 Tel054-361-0200 Fax054-361-0202 生活環境調査/自然環境調査/影響予測・総合評価/環境計量証明(大気・水質・土壌・悪臭・騒音・振動) 作業環境測定

-般社団法人 静岡県産業環境センター

〒431-2103 浜松市浜名区新都田一丁目 4 番 6 号 Tel053-428-3430 Fax053-428-3447 環境調査/環境計量/影響予測/総合評価環境コンサルティング/環境管理計画/作業環境調査 エネルギー資源の有効活用

静岡コンサルタント 株式会社

〒411-0804 三島市多呂 128 番地 Tel055-977-8080 Fax055-977-8600 建設コンサルタント/環境調査・影響予測・総合評価・測量・地質調査・補償コンサルタント/民間開発 都市計画·区画整理·交通計画/道路·橋梁·上下水道他土木設計/施工管理/農村整備/公園整備

株式会社 東日

〒410-0022 沼津市大岡 2240-16 Tel055-921-8053 Fax055-924-8122 環境調査/影響予測・総合評価/道路設計/橋梁設計/治水対策/土砂災害対策/公園緑地設計 測量/地質/補償/地理情報システム/土地造成設計/民間開発/行政支援

株式会社 フジヤマ

〒430-0946 浜松市中央区元城町 216-19 Tel053-454-5892 Fax053-455-4619 環境アセスメント/環境調査/保全対策/民間事業/史跡整備・文化財活用/農業土木 航空写真測量/地域計画/地形・地質調査/建設コンサルティング/設計・施工監理

発行 2025 年 1 月 TEL054-255-3655

静岡県環境アセスメント協会 〒420-0047 静岡市葵区清閑町13-12 HP:http://www.habi.ne.jp/sea